ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/09/26 号(As of 2024/09/25)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	143.34
TKY 9:00AM	142.97	1.1191	160.22	1.3427	0.6906
SYD-NY High	144.84	1.1214	161.65	1.3430	0.6908
SYD-NY Low	142.89	1.1122	159.92	1.3314	0.6817
NY 5:00 PM	144.74	1.1133	161.13	1.3324	0.6823

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,914.75	▲ 293.47	日本2年債	0.3400%	0.0000%
NASDAQ	18,082.21	7.68	日本10年債	0.8100%	0.0000%
S&P	5,722.26	▲ 10.67	米国2年債	3.5602%	0.0213%
日経平均	37,870.26	▲ 70.33	米国5年債	3.5280%	0.0571%
TOPIX	2,650.50	▲ 6.23	米国10年債	3.7897%	0.0588%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,120.00	305.00	独10年債	2.1875%	0.0525%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,268.70	▲ 14.06	英10年債	3.9895%	0.0500%
DAX	18,918.50	▲ 78.13	豪10年債	3.9200%	▲0.0380%
ﾊﾝｾﾝ指数	19,129.10	128.54	USDJPY 1M Vol	12.28%	0.64%
上海総合	2,896.31	33.18	USDJPY 3M Vol	11.71%	0.27%
NY金	2,684.70	7.70	USDJPY 6M Vol	10.71%	0.17%
WTI	69.69	▲ 1.87	USDJPY 1M 25RR	▲0.95%	Yen Call Over
CRB指数	286.16	▲ 1.43	EURJPY 3M Vol	10.51%	0.16%
ドルインデックス	100.91	0.45	EURJPY 6M Vol	9.88%	0.07%

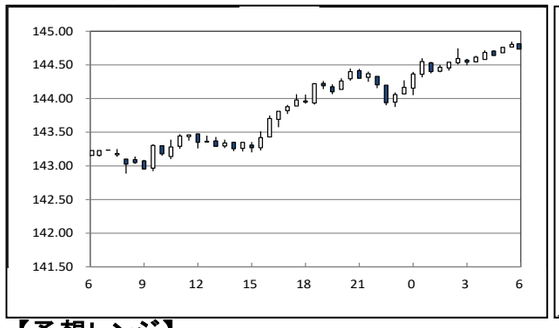
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
9月25日	10:30	豪	CPI(前年比)	8月	2.7%	2.7%
	10:30	豪	CPIﾄﾘﾑ平均値(前年比)	8月	3.4%	–
	23:00	米	新築住宅販売件数	8月	716k	700k

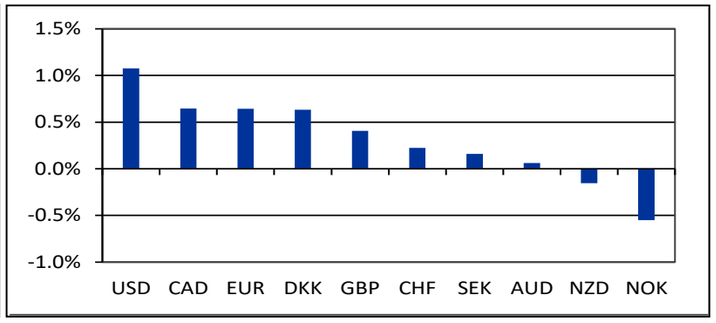
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
9月26日	21:30	米	GDP(年率/前期比)	2Q T	2.9%	3.0%
	21:30	米	個人消費	2Q T	2.9%	2.9%
	21:30	米	耐久財受注(前月比)・速報	8月	−2.7%	9.8%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	21−Sep	223k	219k
	22:15	米	ボウマンECB理事 講演	–	–	–
	22:20	米	パウエルFRB議長 講演	–	–	–
	22:25	米	ウィリアムズNY連銀総裁 講演	–	–	–
	22:30	欧	ラガルドECB総裁 講演	–	–	–
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	8月	1.0%	−5.5%
	23:30	米	バーFRB副議長 講演	–	–	–

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.90－145.50	1.100−1.180	159.00−162.00

東京	本日のﾄﾞﾙ円は142.97ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仲値にかけては五･十日による実需の動きが見られ、ややﾄﾞﾙ買い優勢の展開に。午後に入ると目立った材料もない中、143円台前半の小幅なﾚﾝｼﾞで方向感なく推移し、143.42ﾚﾍﾞﾙで海外市場へ渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、143.42ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米金利が上昇する中、一本調子で144.44円まで上昇し、若干の調整を経て144.32ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.1193ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。仏9月消費者信頼感指数が予想を上回り、対ﾎﾟﾝﾄﾞでは強含む。一方で対ﾄﾞﾙでの影響は限定的で、結局、1.1196ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は143円台前半でｽﾀｰﾄ。142.89まで売られる場面もあったが、その後は五･十日に伴った買いや、米金利の上昇を背景に底堅く推移し、144.32でNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は上昇していた米金利が低下する動きが重しとなり、143.88まで値を下げる。しかし、続いて発表された米8月新築住宅販売件数が予想を上回ると、その後はﾄﾞﾙ買いが優勢となり、144.60付近まで反発。午後は米金利が高水準で推移する展開が支えとなり、144.84まで上値を伸ばす。その後も高値圏の144.70付近での推移が続き、144.74ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。 一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.11台後半でｽﾀｰﾄ。1.1190付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.1196ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。午前中は1.1214まで上昇するも、その後はﾄﾞﾙ買いの流れが重しとなり、1.1122まで大幅下落。午後は下げ渋り、1.1140付近まで小幅戻し、その後1.1113ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。□

【マーケット・インプレッション】

昨日の東京時間におけるドル円は142.97でスタートしてから仲値にかけて、五・十日のフローを受けた上昇を見せたほかは、特段材料なく143円台前半で方向感なく推移した。ロンドン時間に入るとドル円は一本調子に上昇。米金利の上昇が落ち着いた局面では調整が入り下げる場面があったが、東京時間23時に発表された米8月新築住宅販売件数が予想を上回ると、再度上昇の動きを見せ、最後は144.74でクローズ。
今夜は米GDP、PCEデフレーターが発表されるうえ、パウエル総裁をはじめとしたFED高官の発言がある。FED高官の発言内容は9月FOMCのスタンスを大きく変える内容にはならず材料視されないと想定する。ただし、経済指標の結果が9月FOMCの見通しを支持する結果である場合は、USDJPYは上昇するものと予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:元木・大島